東陽中学校

田辺市立東陽中学校・学校だより
令和４年　４月号

令和３年度が修了しました

３月24日、令和３年度の修了式を無事に迎えることができました。３月７日には卒業証書授与式が行われました。様々な場面で東陽中学校のリーダーとして活躍してくれた卒業生に、幸多きことを願っています。４月から２年生は最上級生として、１年生は新入生の先輩として、新しい立場で頑張ってくれることを期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動ご理解と多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

第７３回卒業証書授与式　答辞　卒業生代表　長江 陸

厳しい寒さがまだ残りつつも、陽ざしに暖かさが感じられる季節となりました。本日は僕たちのためにこのような素晴らしい卒業式を挙行していただき、ありがとうございます。今もなお、世界では新型コロナウイルスが猛威を振るい、多くの方が苦しんでおられます。そんな中、今日という日を無事に迎えられたこと、本当にうれしく思います。

入学した日からもう３年。この３年間で数えきれないほどの思い出を仲間とともに作ってきました。（中略）

３年生になり楽しみにしていた修学旅行も延期されました。でも、そのたびに校長先生は「修学旅行は絶対に行きます」と言ってくれました。この先どうなっていくかわからない状況の中、「絶対」と言ってくれる校長先生の言葉から、先生方がどれだけ僕たちのことを想ってくれているのかを感じられました。もし、例年通りの修学旅行だったら、先生たちの想いに気づくことができなかったと思います。そして、10月に行った修学旅行は、最高に楽しく、かけがえのない思い出になりました。僕たちはコロナで悔しいこともつらいこともたくさん味わい、本来ならしなくてもよい我慢もたくさんしてきました。でも、コロナのおかげで、目には見えない想いや優しさにたくさん気づくことができました。朝、学校に行けば友達に会えて、他愛もないことを話したり、みんなで授業を受けたり、クラブをしたり…。そんな日常のありがたさも身に染みて感じました。３年間ともに過ごしたこのスプラウト学年の仲間たち。僕たちは、お互いの個性を認め合い、これまで支え合って過ごしてきました。笑顔の絶えない最高の仲間と過ごせた３年間は、何にも代えられない大事な思い出です。

最後に、僕たちを支えてくださった先生方、本当に感謝しています。先生方は僕たちをより良い道に進ませようと、いつも向き合ってくださいました。３年間、本当にありがとうございました。先生方から学んだことを生かして、立派な大人になってまた会いに来ますので、それまでお体に気を付けて待っていて下さい。

そして、僕たちの一番の理解者である家族。充実した日々を送れたのも、家族の支えがあったからです。忙しいのに大会の応援や学校行事に来てくれてありがとう。お弁当を作ってくれてありがとう。おいしかったです。義務教育終了の今日まで育ててくれて本当にありがとうございました。もう子どもじゃない。けれど、まだ大人になれないでいる僕たちは、まだまだ家族の支えなしでは生きていくことができません。こんな僕たちをこれからもよろしくお願いします。

「一人で生きていくことはできない」という当たり前のことを、この３年間が僕たちに教えてくれました。僕たちはいつでもどこかで誰かに支えられてきたのだということが今ではよく分かります。

僕たちは４月から、それぞれの選んだ道を進むことになります。環境も大きく変わり、壁にぶつかることもあるかもしれません。しかし、３年間この東陽中学校で様々なことを経験し乗り越えたように、僕たちには困ったときに手を差し伸べてくれる人がたくさんいます。

３年間で出会ったすべての人々に感謝し、東陽中学校での思い出を胸に、しっかりと自分だけの花を咲かせます。皆さんの御健康と御多幸、東陽中学校の益々の御発展をお祈りし、旅立ちの言葉といたします。皆さん、本当にありがとうございました。

中部公民館だより
令和４年　４月号

発行 ： 田辺市中部公民館
田辺市中部公民館事務局
〒646-0036
田辺市上屋敷一丁目2番1号（田辺第一小学校内）
館長　田嶋　貞彦　　主事　冨山　唯
TEL　22-0009　　FAX　34-2914

防災学習会・人権学習会を開催しました

〇防災学習会

３月17日（木）、講師に和歌山県防災士会和歌山支部支部長の早稲田眞廣様をお招きし、「災害に備える～災害を知る～」をテーマにご講演いただきました。災害の種類やこれまで実際に起こってきた災害の事例をあげながら、自分の身を守るために災害を知ることの大切さを話してくださりました。また、東日本大震災や熊本地震、紀伊半島大水害の際の被災地でのボランティア活動時のことも実際に撮られた写真と共にお話をしていただきました。

〇人権学習会

３月24日（木）、講師に人権推進課の職員をお招きし、人権学習会を行いました。令和３年４月１日に施行された田辺市人権尊重のまちづくり条例について、条例が施行されるまでの経緯や人権問題の解決に向けて田辺市が行っている取組、田辺市民としての役割などを話してくださりました。

人権問題は常に身近に存在し、解決しなければならない問題です。問題の解決のために、人権について「正しく知り」、気づきを行動に移すことの大切さを改めて学ぶことのできた学習会でした。

講師を務めていただいた早稲田様、田辺市人権推進課の皆様、学習会に参加してくださった地域の皆様、ありがとうございました。

図書コーナーにも春が来ました

中部公民館図書の展示本コーナーが、春のおすすめの本に変わりました。

気温も暖かくなり、外出しやすい季節になってきました。公民館に来られた際には、是非図書コーナーに立ち寄ってみてください。

鏡がつきました

中部公民館のロビーの柱に全身鏡がつきました。

人と会う前やサークルの活動後など、ちょっと身だしなみを確認したい時、整えたい時など、ご自由にお使いください。

春季グラウンドゴルフ大会の結果

令和４年３月20日（日）、田辺第一小学校のグラウンドを会場に、中部公民館春季グラウンドゴルフ大会を開催しました。前日まで雨が降っていましたが、当日は春の陽気に包まれ、絶好のグラウンドゴルフ日和でした。

今回は24名の地域の皆さまにご参加いただき、グラウンドゴルフを通じて、交流を行うことができました。

大会の入賞者及びホールインワン賞は下記の通りです。

入賞者（敬称略）

優　勝	野村	修己
準優勝	野村	富隆
第３位	垣内	史郎

ホールインワン賞（敬称略・順不同）

原田　一之	垣城	光
佐々木良長	野村	修己
垣内　史郎	野村	富隆

田辺市公民館 ちょっと ホームページが 利用しやすくなりました！

田辺市ホームページの公民館係のページが少し利用しやすくなりました！公民館の利用方法や地区公民館について掲載しています。是非ご利用ください！

01 公民館の利用方法 が 分かりやすくなりました！

02 利用に関する よくある質問を まとめました！

03 公民館 PRキャラクターを 紹介します！

公民館ホームページの利用方法

右のＱＲコードをスマホなどで読み取るか、下記のＵＲＬを入力してアクセスしてください。

https://www.city.tanabe.lg.jp/shougai/kouminkan/

田辺市　公民館　検索

■問合せ：生涯学習課 公民館係　ＴＥＬ：２６－４９２５

各種生ごみ処理機器の購入費を一部補助します

処理機器を使用することにより、各家庭でごみ減量が図られ、生ごみを堆肥として再利用することができます。

【交 付 要 件】 市に住民票のある世帯の世帯主が、市内の販売店で処理機器を購入し（通信販売やネット販売は対象外、購入後5年を経過しての買換えは可能）、市内に設置すること。

【補助対象機器】 密閉式バケツ容器、コンポスト容器、電気式生ごみ処理機

【補 助 金 額】 本体価格（購入価格から消費税及び配達料等を除く額）の２分の１以内で上限は２万円（100円未満は切捨て）

【補助対象個数】 １世帯につき電気式生ごみ処理機１基又は生ごみ堆肥化容器にあっては2基（ただし、予算の範囲内で先着順）

【申　　請】 処理機器を購入する前に指定の申請書に必要事項をご記入の上、**令和５年３月中頃まで**に、郵送又は直接提出してください。申請書は、玄関案内係（本庁舎２階）、健康増進課（市民総合センター２階）、各行政局、各連絡所、各コミュニティセンター、廃棄物処理課（市ごみ処理場）、水道事業所で配布しているほか、ホームページからも取得できます。

【問　合　せ】 廃棄物処理課廃棄物対策係
〒646-0053　元町2291-6　☎0739-24-6218
http://www.city.tanabe.lg.jp/seisou/recycle/namagomi.html)

津波避難マップが完成しました

昨年から各町内会長さんを中心に作成していただいていた中部ブロックの津波避難マップが完成しました。この津波避難マップは、南海トラフの巨大地震による津波が発生した場合に想定される津波浸水想定区域を掲載したマップに、各地域で検討した避難場所や避難経路を示したものです。

このマップは広報４月号とあわせて対象地区の全戸に配布されます。地震や津波が起きた場合に備えて、事前に避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

明るい笑顔街いっぱい運動　**あいさつ・声かけ運動定期運動日程**

４/11（月）、５/２（月）

時間：午前７時30分 ～ 8時　場所：田辺第一小学校　正門及び裏門前ほか

※現在のコロナウイルスの情勢を踏まえ、中止となる可能性があります。